

〒428-0007 島田市島 581 番地の 14 電話：0547-46-5561 FAX：0547-46-5566

ホームページ：<http://www.hcc-kokoro.jp/>

Eメール：w-cocoro@hcc-kokoro.jp

あたらしい年 2012 年を迎えるにあたって！

今年も前に向かって歩んで参ります

新年、明けましておめでとうございます。

本年こそは全ての人々にとって、より良い年となりますよう祈念申し上げます。

昨年の東日本大震災における痛手は、東北はもちろん日本列島全てにおいて未曾有のものでありました。被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。これから先、歳月と人々が努力を重ねることにより、きっと復旧・復興の実が結びでしよう。しかし心の課題は、長い時間を要するものです。そのことを私たちは忘れてはなりません。

さて当 NPO 法人『こころ』の昨年は、就労移行支援事業において、『生活の木』のご協力を頂き、手作り石鹸の製造・販売を作業として導入を致しました。当法人としては大きなトライでもあります。利用者の皆様への工賃アップや法人強化につながるための一歩と位置づけております。

毎年のように組織の編成替え等をしておりますが、全て前向きなる挑戦の証としてご理解願えれば幸いです。その意味で本年も新しい事や今後必要と思われることごとに取り組んで参る所存でございます。本年も倍旧なるご指導ご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

理事長 山城厚生

社会福祉法人設立準備の現状とこれから

当『NPO 法人こころ』をグレードアップし、社会福祉法人にという旗揚げをしたのが平成 20 年のことでした。それから多くの方々にご支援頂いたのですが、残念ながら条件が整わず正式な申請に至らないでおります。その間に当 NPO 法人の財政も非常に厳しい状況に陥ったこともあり、社会福祉法人設立準備前に、まずは現状を打破・強固な NPO にすることが先決であるとし、一丸となり頑張っておりました。

まだまだ十分ではありませんが、努力の重ねにより少しずつ落ち着きつつあり、もうひと頑張りと思っております。また当法人の事業も拡大され、利用されている方々も増えてきた現状や将来を見据えますと、やはり福祉の専門法人としての法人化を進める必要性を強く感じているところであります。その意味で現法人強化と新法人準備は従来通り並行して進めて参ります。

現況等ご理解を賜りまして、今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

(仮) 社会福祉法人こころ設立準備委員長 山城 厚生

各事業報告

1. 相談支援事業

平成 23 年度の相談支援事業は島田市、川根本町と委託契約を結び、島田市においては、島田市役所内の設けられた相談窓口に通 3 日出向いております。川根本町においては従来通りハートケアセンターこころ（島田市島の事業所）で相談を受けています。

24年度から法改正によりこの事業においても事業内容等が変わりますが、相談支援事業における基本姿勢は変わることはありません。一人ひとりの「願いと夢」に寄り添いながら人生の主人公である一人一人と共同作業によって支援計画を創り上げていくという過程（プロセス）を大切にしていきたいと思えます。

2. 精神障害者地域移行支援事業

精神障害者地域移行支援事業は今年度が事業最終年（5年間事業）です。今年度は、志太榛原圏域における新規対象者はおらず、昨年度退院をした1名の方に対し地域定着支援を行っているのみです。一方、本事業の究極的な目標である「地域における支援システムの構築＝地域づくり」の一環として、宅建協会だけでは支部と牧之原市ネットワーク会議と連携を図りながら住宅問題について取り組みました。これは、精神障害者に対する根深い偏見により、精神障害者というだけで住宅確保が難しく、結果として退院先の住居が確保できないということに対し、不動産関係者の理解協力を求めることを目的としています。今後、2月には宅建協会員、家主向けの研修会を実施予定です。

また、本事業が終了するにあたって、この5年間の総括と本事業の取り組みをどのように24年度以降につなげるかを十分協議しなければならないと思っています。

3. 地域活動支援センター事業（サロン）

地域活動支援センターの目標は、「地域で生活する障害者の日常生活の支援、日常的な相談への対応や地域交流などを行うことにより、障害者の自立・社会参加の促進を図る。」ということですが、具体的に次の活動を行っています。

- ① 居場所作り：仲間と会話ができる所、休養する所、やすらげる所、自分の目的や体調にあわせ過ごせる所、交流や仲間づくりができる所、相談できる所
- ② 自立のための生活支援：200円ランチ作り（上半期108回開催）、おやつ作り、買い物体験、清掃など
- ③ 活動支援：クラブ活動（上半期6クラブ・54回開催）、季節を楽しむウォーキング、七夕飾り、夏祭のステージ発表、断酒会研修でミュージックバンドクラブが演奏、ミーティング（上半期17回開催）、手芸・折り紙・ぬり絵など
- ④ 情報提供：ポスターづくり、図書貸し出し、家族茶話会など
- ⑤ 地域交流として夏祭り・もちつき大会、地域の祭りへの参加、スポーツ交流会参加、他事業所・ボランティア・実習生との交流

利用者一人ひとりより「今日“こころ”へ行ってよかった。」という声をもっと増えるようにこれからも利用者の声を大事にしていきたいと思えます。

なお、平成22年度は利用者が減少傾向でしたが、病院・クリニック・いろいろな会議での広報活動を実施し、上昇傾向になってきました。



ランチ作り



卓球大会参加



スポーツ交流会参加



他事業所との交流会

4. ワークセンターこむぎ(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

就労移行支援事業:定員10名

就労移行支援事業(ワークセンターこむぎ本町事業所)では12月現在9人の利用者さんが就労を目指して訓練をしています。

ベーカリー・うえる、カフェ・みれっと、ワークセンター・こむぎでの日々の作業に加え6月には隔月に行われるふれあい市、7月にはラブパク2011 in しまだ、8月にはこころ夏祭り、KKP24夏の市、10月にはSLフェスタ、12月にはこころもちつき大会など各行事への参加とその準備に忙しい半年を過ごしました。

作業においては、終日同じ現場での仕事を続けて行うことに重点を置いたところ、どの利用者さんも長い時間集中して作業に取り組めるようになってきました。

行事の準備の中では、計画すること、話し合うこと、力を合わせて創作することなどを体験し、さらに当日は地域の方達の中、一人の社会人として参加することなど就労にむけた人との関わりについてそれぞれの形で得るものが大きかったと思います。

また、今期はこころ独自の自主製品として手づくり石けんの製造販売が始まったことは大きな変化でした。美味しいパンやコーヒーを自信持って製造販売することで、利用者さんの力強い社会との繋がりを目指してきた事業所にとって、またひとつ本当に良いものを作り喜んでもらえるものが誕生しました。石けんづくり、ラッピングなど難しいと思うことも根気よく続ければ必ずできるようになることを実感することは就労への階段を一つのぼることでありと信じています。



施設外作業



雑誌すろーらいふ掲載



花火袋詰め作業



石けん作り作業

就労継続支援B型事業:定員10名

4月から、作業場所を金谷本町から島に移して心機一転スタートした就労継続支援B型事業は、12月までに登録者が19名に増え、日々の通所人数も少しずつ安定してきました。作業も、女性利用者を中心に新たに手芸に取り組み始め、これまで就労移行支援事業で行っていたソックモンキー等を作っています。

11月には、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構の農村工学研究所より、障害者就労支援事業として、伊久美のやまゆりでの蕎麦収穫作業の体験依頼があり、ふだんの草取り作業とは異なる雰囲気での野外作業を行いました。

現在は、公募のあった静岡県健康福祉部の子育て支援啓発品に応募したウッドピンチが採用されて2000個の注文をいただき、忙しく作業しているところです。



軽作業



農作業



ポスティング作業



蕎麦収穫作業

こころの手づくり石けん

全国に事業展開している(株)生活の木の指導を受け、こころ独自の手作り石けんの製造・販売を11月より開始しました。この石けんは化粧品に該当するので「化粧品製造販売業」と「化粧品製造業」の許可証を県知事より取得しています。

特徴

天然素材使用	オリーブ油、ヤシ油、パーム油の3種類のオイル、それらが石けんになるときに生まれるグリセリンの保湿作用でお肌がしっとりします。
無添加	合成保存料や化学防腐剤を使用していないので子供やお年寄り、敏感肌の人でも安心して使えます。
香りのよい精油使用	アロマテラピーで使用するのと同じ精油が入っています。泡のほのかな香りがこころとからだを癒してくれます。

好評発売中のこころの石けん3種

緑茶石けん	みかんはちみつ石けん	炭石けん
金谷産緑茶の粉入り やさしいラベンダーの香り でこころが和みます。 (無添加ですので色は緑色 ではありません)	静岡産みかんはちみつ入り みかんの花の蜜を蜂たちが 集めた貴重な はちみつです。 オレンジスイートの香りが こころを落ち着かせてくれま す。	島根産炭入り さわやかなペパーミントの香り ですっきりします。(炭は食用の安心な 炭です。)
 630円	 630円	 630円

また、自分の好きな材料で自分だけの石けんを作りたいと思っている方達のために石けんづくりの教室も計画しています。興味のある方はどうぞワークセンターこむぎ(0547-46-1687)にお問い合わせください。

平成23年6月~12月のイベント報告

1. 家族交流会開催(静岡県精神保健福祉協会助成事業)

吉田町精神保健福祉会秋桜・精神保健福祉島田親愛会・ハートケアセンター「こころ」家族茶話会の3団体合同で“家族による家族のための”ピア活動のテーマで「秋桜」代表曾根千鶴子氏を講師に招きセミナーを7月16日(土)に23名の参加いただき開催しました。



2. 夏祭り

8月20日(土)に第7回地域ふれあいイベント夏祭りを開催しました。今回は藤枝市「似顔絵うふふ」の似顔絵コーナー、「番生寺朝市の会」さん、「ふるさと神谷城」さんの野菜販売、お菓子の販売等近隣の方より出店をいただき来場者も約200名と昨年より多く来ていただきました。



3. 防災講話

近隣住民の方、こころ利用者、職員に呼び掛けて10月24日に県中部危機管理局より講師を招き防災講話を開催しました。暮らしに役立つ防災講話の題目でパワーポイントに多くの写真と絵を使い利用者に分かりやすく丁寧に説明していただきました。



4. もちつき大会

12月17日に地域の親子連れや利用者、家族など約270人が来場され開催しました。今回は「カフェ・みれっと」が提供したカレースープが大人気でした。自主製品販売も行われ、パン・乾燥こんにゃく・手芸品のほか今期、製造販売を始めた「無添加手づくり石鹸3種（炭・お茶・みかんはちみつ）」も販売しました。



今後の主な行事予定

<2012こころと福祉のセミナー>

題 目 「まちを元気に！パート2」

新たなビジネスモデルの提言 ～いいことすればいいんだよ～

受動的な障害者福祉でなく、障害者も積極的に社会参加し、地域社会と一体化してまちの活性化を目指す足掛かりとする。

日 時 平成24年1月22日（日）

講演：13時30分～15時10分

終了後、ハートケアセンターこころ見学と石けん等自主製品の販売

場 所 夢づくり会館 島田市島550-2

講 師 (株)生活の木 専務取締役 宇田川僚一 氏

全国ハーブサミット連絡協議会委員、NPO法人メディカルハーブ協会理事長、NPO法人森林セラピーソサエティ幹事、JETRO・JICA・JAİKAF 専門家
経歴：1975年以来、ハーブ・アロマセラピーの開発、普及に取り組む。

ハーブ・アロマセラピービジネス、用途開発、町おこし・村おこし等、アドバイスを求められること多数。

ボランティア募集

作業補助ボランティア、利用者が外出する時（不定期）の運転ボランティア、外出プログラム（不定期）の付き添いボランティアを募集しています。（詳細は0547-46-5561）

寄付と外注作業紹介のお願い

- 1) 石鹸、洗剤、タオルなどの日用消耗品と調味料・食材
- 2) 夏祭りのバザーで販売する品物
- 3) 就労継続支援B型事業は安定して継続できる仕事を探しています。ご紹介ください。
・草取り作業、農作業、袋つめ作業、シール貼り作業、部品組立てなどの軽作業
- 4) アルミ缶・古紙（ダンボール、新聞紙、雑誌、雑紙）の提供

助成ありがとうございました。平成 23 年 6 月～12 月分

順不同・敬称略

※ 空調設備更新の助成金

こむぎ本町事業所のエアコンは設置後 23 年経っているため運転音も高く また、時々停止することもあるため「赤い羽根共同募金の福祉機器整備事業」の助成を受け更新しました。



※ ノートパソコンの寄贈

認定NPO法人イーパーツよりリユースノートパソコンを1台寄贈していただきました。



寄付金ありがとうございました。平成 23 年 6 月～12 月

順不同・敬称略

小原きよ子	曾根千鶴子	鈴木康允	八木博敬
高桑義雄	なごやか	阿部虎之助	亀山トシ江

賛助金ありがとうございました。平成 23 年 6 月～12 月

順不同・敬称略

高木敬	山本 勇	シミックCMO(株)	河原崎克己
平岡良江	たぐちクリニック	(株)寺田製作所	鈴木富美
(株)沖金物店	S. T. P 会代表酒井勝	仲田モータース	塚田明子
(株)カネス製茶	エースクリーニング(株)	沼津熔銅(株)金谷工場	三浦なつ子
鈴木ヨシ江	(有)五島不動産	(株)大石時計店	高桑義雄
(株)塚本工務店	桜井資源(株)	中島義夫	大池まさよ
森下美子	島田断酒会	(有)竹内工務店	近藤容子

特定非営利活動法人 ころを

応援してください

賛助会員募集中！！

賛助会費	
個人	1口 3,000 円(年額)
団体	1口 5,000 円(年額)

特定非営利活動法人 ころは、島田市島に拠点を置き、誰もが地域で安心して生活ができる街づくりを目指して、『ころの健康、明るい地域』をモットーとし、『個の尊厳』『人権の擁護』『自己決定の尊重』の精神を大切に、精神保健福祉・障害者福祉活動に取り組んでいます。

ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

詳細は電話(0547-46-5561：担当 岡野)にてお問合せください。

《へんしゅう筆》

平成 23 年は東日本大震災などがあり激動の 1 年でした。ころは給付事業を始めてもうじき 3 年を迎えますが相変わらず厳しい状態が続いております。今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。

